

学齢期のきょうだいにおける困りごとの一例

家庭内で起こっていること



障がいのある兄弟姉妹の行動によって、勉強に集中できないことがあります。課題の提出などに影響する場合がありますが、先生に事情を説明するのをためらうきょうだいもあります。

周囲からの言葉かけ



「いい子だね」「面倒をみてえらいね」という声かけに、「大人の手をわずらわせてはいけない」「障がいのある兄弟姉妹の分まで頑張らなければいけない」などのプレッシャーを感じることもあります。

障がいに対する意識の違い



障がいゆえに兄弟姉妹がじろじろ見られていることを感じて、戸惑いや恥ずかしさなど複雑な気持ちをもつことがあります。友人に兄弟姉妹のことをどう話していいのか迷うきょうだいも多くみられます。

将来に対する不安



将来を考えた時に、同時に兄弟姉妹のことも頭に浮かんできて、「自分が世話をしなければならないのかな」といった不安を感じ、進路選択に悩むきょうだいもあります。自分の夢を自由に語れるまわりの友達とのギャップを感じることもあります。

きょうだいに必要なこと

♥ 気持ちの理解

左ページに例示したような様々な気持ちを持った時に「誰にもわかってもらえない」「こんなこと思っはいけない」とひとりで抱えてしまう子どももいます。どんな気持ちであっても否定されず、まずは受けとめてもらえることがきょうだいには大切です。

📄 情報提供

自分はひとりではないこと、いろいろなきょうだいの生き方があること、兄弟姉妹への接し方など、きょうだいには様々な情報が必要です。きょうだいを支援する団体も各地にあります。「うえるしぶ」にも情報を掲載していますのでご利用ください。

🏫 学校全体での障がい理解

「『障がい』とは何か」を学校全体で学ぶことのできる環境づくりが大切です。特別なニーズのある人にとって、社会の何が「障がい=バリア」になっているのかを考える機会が持てるとういことも知れません。



きょうだいを理解するための、詳しいヒントをWEBサイトに掲載しています。左記のQRコードからご覧ください。